

取引先とともに

持続的な事業活動を支える

適正取引

調達基本方針

- 1 開かれた公正・公平な取引の原則
- 2 調達相手先と一体となった競争力強化の原則
- 3 調達相手先との共存共栄の原則
- 4 原価低減活動等における課題・目的の共有と成果シェアの原則
- 5 相互信頼に基づく双方向コミュニケーションの確保の原則

当社は、「調達基本方針」に基づき、適正取引の推進を図っています。調達方針説明会でeSQCD等の期待値を提示し、取引先へ年間活動テーマとして展開していただいています。

● サプライチェーンマネジメント

東日本大震災において調達困難な原材料、部品の代替先検討等の実体験をもとに反省し、サプライチェーンの把握に取り組み、大規模災害を想定した具体的な「生産の構え」を検討開始しています。これは、当社の事業継続マネジメント(BCM)の一部と連動しています。

紛争鉱物に関する対応

大豊グループで製品、購入部品、原材料には紛争鉱物を使用しないと宣言すると共に、取引先に対し、製錬所の情報入手と、不使用の証明書提出を要請しています。

● 豊成会の取り組み

豊成会は、当社の協力会社(全22社)で構成される組織として、1989年に結成され、大豊グループ協会として相互研鑽を通じ、企業の発展を図っています。

技術開発・改善事例展示会

グループ力の最大化(拡販、収益向上)と相互理解によるパートナーシップ強化を目的に2012年から毎年「技術開発・改善事例展示会」を開催しています。2015年度は16件の事例が展示されました。



豊成会の担当者の声

トライの積み重ねにより量産条件を確立し、ダウンサイジングを成功させました。これからも技術力に磨きをかけ、頼られる仕入先になるよう、改善を続けていきます。



奥田工業(株)
小野寺 秀徳

グローバル調達の取り組み

安定調達

適正価格で安定調達を維持するために、グローバル調達を加速させます。そのため、調達機能としての体制や個々のスキルの充実を図っています。

現地調達化に向けて

北米におけるバキュームポンプの現地生産に向け、現在北米現地の取引先において生産準備を進めています。北米の拠点では初めてのシステム製品の立上げになるため、取引先と連携しスムーズな生産稼働を目指します。

● グリーン調達ガイドライン

取引先の皆様と環境活動を連携していくために、当社ではグリーン調達ガイドラインを発行しています。

PDF版を当社ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.taihoneet.co.jp/company/green.html>

